

中高生向けイベント

本館では、中高生世代の利用促進および居場所づくりを目的として「ティーンズイベント」を実施している。近年、児童館の利用は小学生が中心となる一方で、中高生が安心して過ごせる公共の場は限られている。思春期にある中高生にとって、家庭や学校以外に気軽に立ち寄れる場所の存在は重要であると考え、本事業を行っている。

内容は、小学生向け事業よりも発展的な題材を取り入れ、自分らしさを反映できるものづくりを中心としている。既成の形にとらわれず、自分のお気に入りとなる作品を完成させる過程を大切に、達成感や自己肯定感の向上につながるよう工夫している。

また、職員と共に活動する時間を通して自然な対話が生まれ、信頼関係の構築にもつながっている。児童館が「楽しめる場」であると同時に、「安心して話せる場」となることを目指して実施している。

取組の概要

・実施場所

児童館 2 階リソース室

- ― 落ち着いた環境の確保
- ― 館内備品を利用し事前準備を徹底
- ― 円滑な実施体制の整備

・実施頻度

2 ヶ月に 1 回（15 時 30～18 時 00 分）

- ― 放課後の時間帯に設定
- ― 中高生が参加しやすい環境づくり

・職員体制

常勤職員 1 名、非常勤職員 1 名（計 2 名体制）

- ― 安全管理の徹底
- ― 活動支援の実施
- ― 一人ひとりに目が届く関わり



- ・中高生が安心して参加できるよう、活動内容は参加者の興味・関心や発達段階に応じて設定している。また、意見やアイデアを取り入れながら主体的に取り組めるよう配慮している。
- ・活動中は一人ひとりの様子に目を配り、必要に応じて個別に声かけを行うなど、心理的安全性の確保に努めている。
- ・個人的な相談に繋がる可能性も踏まえ、プライバシーに配慮した対応を心がけるとともに、内容に応じて適切な情報共有・関係機関との連携が図れる体制を整えている。
- ・安全面については、活動前後の環境確認および備品管理を徹底し、事故防止に努めている。

取組の効果

- ・中高生の参加者が増加し、リピーターも見られた
 - ・「楽しかった」「またやりたい」といった前向きな声があった
 - ・完成品を通して達成感や自信につながった
 - ・普段は来館頻度が少ない中高生の来館動機となった
 - ・職員との自然な対話が生まれ、信頼関係の構築につながった
-
- ・参加者アンケートや意見聴取を通じて企画内容をさらに充実
 - ・中高生自身が企画側に回る機会の創出
 - ・継続講座型のプログラムの検討
 - ・他館や地域団体との連携による内容の拡充

